



社会福祉法人 岡山市手をつなぐ育成会

仲よし

～地域で豊かなくらしを～

発行 社会福祉法人 岡山市手をつなぐ育成会 岡山市北区番町二丁目7番10号 TEL086-206-1500



▲〈仲よし祭(十二月)〉



◀令和六年度絵画展(十一月)▶



ご挨拶



理事長 石原 眞季江

平素は当法人に対しましてご理解ご支援ご協力を賜り、誠に有難うございます。

令和六年一月は、新しい年を迎えたその日に能登半島地震が起りました。その後も各地で大雨災害等もあり、お亡くなりになった方々にお悔やみ申し上げるとともに被災された皆さまが一日も早い日常を取り戻せますよう心から願っています。

岡山は「晴れの国」と言われるように穏やかな地ではありますが、災害等に対して意識を高める必要を感じた年でもありました。

さて、障がい者本人の意向を踏まえた個別支援計画の作成等が令和六年度から努力義務とされ、令和八年度には義務化されます。それにはご本人の意思を確認する事が最も重要な事となります。そこで令和六年十一月十六日、岡山西ロータリークラブ様のご協力を頂き、全国手をつなぐ育成会連合会常務理事又村あおい氏を講師

としてお招きし、「意思決定支援について」の職員研修会を行いました。意思と意志、読み方も文字も似ていますが、意思は思いや考えに重きが置かれ、意志は気持ちを強調する際に使われます。これを踏まえると意思決定支援の内容もはつきりとわかってくると思われます。重度の障がいのある人も必ず意思あるいは思いや気持ちがあり、自分で決める可能性を秘めている事、それをどのように支援できるのかと考えるのがポイントとなります。

当法人は、障がい者が安心・安全に地域で生きる仕組みをつくることを理念として掲げています。職員、ご家族、関係者ができる限りの情報を集め、ご本人に伝え、ご本人の意思を確認する努力をしていかなければなりません。

令和七年は、乙巳(きのとみ)の年。柔軟な心と豊かな知恵を持ち、新たな挑戦に立ち向かう社会福祉法人岡山市手をつなぐ育成会でありたいと願っています。



昭和町仲よし

就労継続支援B型事業

四月に一名、九月に一名の利用者さんを迎え、現在、十三名で活動をしています。芯金一方向揃え、封入作業、ペットフードの詰め作業、ベネッセ清掃や百間川清掃などいろいろな仕事を頑張っています。「今日はどんな仕事があるかなあ」と利用者さん達は毎日楽しみに通所されています。

皆さんとても明るく、職員や他の利用者さんとの会話を楽しみながら過ごされています。

仕事以外でも季節に合わせて行事を行っています。夏祭りやハロウィン等のイベントを皆さん楽しんでます。また、ふれあいまつりなどのイベントに出店し、さをり織りの販売をしています。

生活介護

新たに一名の利用者さんに加え、現在九名で活動をしています。

日中は作業やレクリエーション、創作など、色々な活動をしています。日課の体操では、手拍子や掛け声をするなど皆さん意欲的に参加されています。今では振り付けも完璧です！

外出の機会も増やしています。買物、散歩、カフェでスイーツを食べる企画をしました。今後も楽しいイベントを企画していきたいと思っています。



昭和町仲よしの建物を、岡山市消防局より、優良防火対象物として表彰していただきました。今後も利用者の皆様が安心して通所できる場として日々防災に努めたいと思います。



〈夏祭り〉

〈ハロウィン〉

利用者さんからのメッセージ

私は仲よしでタオルをたむ仕事を頑張っています。給食の時間が一番好きです。好きなメニューはかつ丼。次は、はし入れの仕事を頑張ってみたいです。

(青山 心咲さん)

DM練習のお仕事をしています。給食の時間が好きです。好きな給食はラーメン。これから仲よしで体操頑張ります。

(吉田 健心さん)

※利用者さんから聞き取り作成しました。





九月にみろくの里に日帰り研修に行きました。旅行前から、何のアトラクションに乘ろうかな、お土産にもみじ饅頭を買いいたいなど楽しみにされている様子でした。行き帰りのバスではカラオケ、クイズ大会をして盛り上がりました。みろくの里ではジェットコースター、お化け屋敷、メリーゴーランドなど様々なアトラクションに乗って、楽しまれていました。「いつか来た道」で昭和三十年代の街並みを見



〈みろくの里〉

てタイムスリップした気持ちになりました。屋台でアイスやクレープも食べました。利用者さん、職員ともに楽しい旅行となりました。



〈封印キャップカウント作業〉



今年度から、よりよい支援を目指し、コンサルテーションを導入しています。外部から専門の先生を招いて、支援についてアドバイスをいただいています。

「P20 コンサルテーション参照」

先生からの助言により作業への導入の仕方、資材の置き方、作業がしやすいように道具の改善など、利用者さんが作業しやすい環境を整えました。以前より作業に集中し、継続して取り組める時間が長くなりました。

また余暇時間に新しいレクリエーションを取り入れたり、利用者さんが楽しめるような余暇題材の作成をしたりしています。今後も利用者さんがいきいきと楽しく仕事や活動できる場になるよう職員一同頑張りたいと思います。

(難波 開平)

中央仲よし

現在は、二十二歳から七十七歳までと幅広い年齢の利用者さん十七名が所属しており、芯金一方向揃えを中心に様々な作業に取り組んでいます。

ポステイング作業は施設外での仕事とあって楽しみにされている利用者さんがいます。気持ちよく新聞を手にとってもらえるように、きれいに折ったり投函したりするように心がけています。

電線差しとチューブ通しの作



〈チューブ通し作業〉

業では担当の方から「中央仲よしさんは品質がすごい良くて感謝しております！」というお手紙をいただきます。これを励みに今後も丁寧な仕事を継続していきます。

ガスケツト封入作業では大小様々な大きさのガスケツトがあります。最近取り組むようになった物の中には全長五十七センチメートルにもなるガスケツトもあるため、日々苦戦しながら作業を行っています。



〈ガスケツト封入作業〉

他にも不定期で依頼される仕事があり、特に封入作業を楽しみにしている利用者さんは多くいます。中央仲よしではお花見、夏祭り、運動会、クリスマス会や新年会といった季節ごとの行事をしています。



〈夏祭り〉



〈お花見〉

毎年みなさんが一番楽しみにしているのは日帰り研修です。今年は、広島県の(株)阿藻珍味で藻塩せんべ焼き体験やちくわ握りをしたり、福山動物園を観光したりしました。せんべ焼きでは焼きながら食べてしまう利用者さんもいました。



〈クリスマス会〉





〈福山動物園〉

現状の課題は、令

和七年四月に建物の改築工事のため移転することです。工期は半年から一年の間を予定しています。移転先は、現在の事業所の近くに決まりました。

中央仲よしでは「楽しく元気に」をスローガンに明るく笑顔の絶えない事業所作りを大切にし、日々の生活が有意義になるよう努めています。見学は随時受付していますので、興味のある方は気軽にお声がけください。お待ちしております。

(松岡 竜大)



利用者さんからのメッセージ

守屋 奈美

私は中央仲よしで働きはじめて八年になります。主にガスケットをビニールぶくろに入れる仕事をしています。さいしょのころはガスケットをぶくろに入れるのがむづかしかったのですが、どうしたらうまくできるかという考えながら少しくツをつかんできたと思ったとき、とてもうれしかったです。

いちばん楽しみにしているのが昼休みのお弁当の時間です。大好きなポテトサラダがでたときはテンションがあがります。お昼休みにしょくいと一緒仲よしの公用車をちゅうしゃじょうまでとりに行くのも楽しいし、いいうんどうにもなるので仕事に来るはげみにしています。これからもガスケット、ベアリングなどががんばっていきます。

ご家族からのメッセージ

吉川 由里子

令和二年四月より中央仲よしで、子どもがお世話になっています。通所しやすい、座ってできる仕事を本人が希望していましたので、おかげ様で続けることができました。

新しい仕事や行事、日々の活動も本人の特性に寄り添っていただき、無理させる事なく参加させていただいております。社会参加して役に立ち、お金をもらい、ほしい物を買う事に喜びを感じています。職員の方々には、感謝、感謝です。



西大寺仲よし

就労継続支援A型事業

東部リサイクルプラザでは、岡山市の各家庭から集められた資源化物の手選別作業と段ボールの組み立て作業を行っています。ふれあい清掃では、西大寺ふれあいセンター三、四階の清掃を行っています。

東部では、四月から利用者さんが二名増えました。また、プラスチック類の回収開始に伴い、発泡トレイ選別がなくなり、段ボール組み立て作業を本格的に取り組んでいます。慣れない作業や環境に戸



〈段ボール組み立て〉



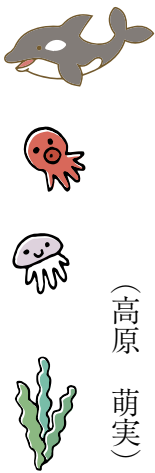
〈須磨シーワールド〉

惑うばかりでなかなか軌道に乗れていない状況でありま
す。お仕事をいただく苦労を
日々感じています。
清掃にも新しい利用者さん
が増え、先輩たちは張り切っ
ています。まだ変化に慣れな
いこともありませんが、良い刺
激になっています。
年々猛暑が加速していますが
暑い時期の作業もしっかり水分
補給を行い乗り切りました。

今年、日帰り研修で『須磨シーワールド』と『めんたいパーク』へ行きました。

五年ぶりのバス旅行は初めてA型・B型合同で実施。合同の行事は、新年会以来でした。親睦を深めるために行きのバスでは自己紹介を行い、所属・名前・好きなものなどを発表しました。意外な趣味を持つている人もいて利用者の皆さんの新しい一面が見えました。

須磨シーワールドといえばイルカとシャチのショー。愛くるしい姿に「かわいい〜」が止まりませんでした。三連休でどこへ行っても人が多かったです。みんな順番やマナーを守って楽しむことができました。また楽しい時間を過ごせるような企画を考えていきたいと思っています。



(高原 萌実)

利用者さんからのメッセージ

木下 英里香

仲よしで働いて頑張っていることは、ビンで困った時に聞くことと段ボールでスピードを上げることです。楽しいことは、先輩と休憩時間に話すことです。これからも体調管理に気を付けて毎日休まず出勤します。



〈須磨シーワールド〉

就労継続支援B型事業

B型では、四月から利用者さんが一名増えました。

作業は、芯金一方向揃え作業を中心に、様々な内職作業を行っています。今年に入り、多くの企業様より仕事を頂ける機会が増えました。現在、六社より仕事の依頼を頂いています。以前に比べると仕事の幅は広くなり事業所内は活気づいています。

内職の仕事は、チラシ封入、



〈ウレタン貼り付け〉



〈カード仕分け〉

箱折り、ウレタン貼り付け、カード仕分け、ギミック組み立て等があり、受注量によって日々違う作業を行っています。利用者さんのできることがそれぞれ異なるため、一つの作業を細かく分業化して、みんなで協力して作業を進めています。分業化することで、多くの利用者さんが作業に携われるようになり、個々の能力が伸びて、全体のスキルアップにも繋がっています。引き続き安定した仕事をいただくことで利用者さんの能力の向上と安定した工賃の確保にも努めていきたいです。



〈須磨シーワールド〉

行事では、色々な外出を企画して、お花見、工場見学、展覧会など様々な場所に出かけています。特に印象に残っているのは、須磨シーワールドへの日帰り研修です。混雑していましたが、大迫力のシャチが見られました。初めて参加する利用者さんも多く、楽しめました。また、普段交流の少ない利用者さんたちと交流できて楽しい思い出になりました。



〈スパイファミリー展〉

ました。来年も楽しみです。

行事では、利用者さんの意見も参考に計画を立てます。これからも、日々の仕事を頑張って、外出を楽しみたいと思います。

利用者さんの通所率の向上や仕事の確保など課題は多くありますが、利用者さん、職員、一丸となって取り組みたいと思います。

(伊塚 美枝子)



西南仲よし

西南仲よしは、西・南の各ふれあいセンター内にあります。現在、西生産部には今年度四月から高等部を卒業したばかりの新しい仲間が入り、十三名となり南生産部には十名、西清掃部に一名、南清掃部に二名の利用者さんが在籍されています。西清掃部では週に二回ずつ生産部の利用者さん二名が清掃に入られて作業を行っています。

生産部では、建築部品のセット作業・ジーンズ製品の糸切り作業・ゴム製品のバリ取り作業・商品のラベル貼り作業等の内職作業を行っています。建築部品のセット作業ではミス防止のため、セットする部品の順番や向きを確認しながら作業を行い、急ぎの注文があった時はみんなで協力しながら作業に取り組んで

います。

ジーンズ製品の糸切り作業では細かな糸を見落とさないよう集中しながら、切つてはいけない糸に注意し作業を進めています。

清掃部は、西・南各ふれあいセンター三階の清掃作業を行っています。ホールや研修室・トイレ清掃などの日常的な清掃の他、ポリシャーなどの機械を使用して、定期的にワックス掛けや廊下のじゅうたん清掃を行っています。



〈南生産部 建築部品のセット作業〉



〈ジーンズ製品の糸切り作業〉



色々な方が利用されるので、きれいに仕上げることが努めています。



〈西生産部 建築部品のセット作業〉



〈西清掃部 清掃作業〉



〈南清掃部 清掃作業〉



西清掃部では、生産部の利用者さんが新たに週二回、清掃作業に加わり、困っている時には他の利用者さんが助言をしながら協力し作業に取り組んでいます。

毎朝、利用者さんが担当される日直の掛け声により一日が始まります。口頭では分かりにくいので日直や出席の確認・昼食

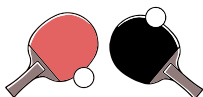
利用者さんからのメッセージ

大崎 晶子

私は西南仲よしにきて二十三年になります。

糸切りをがんばっています。むずかしいところは、切りのこしがないようにがんばっています。じかんをはかりながらすこしでもはやくさぎょうができるように、もくひょうをもってがんばっています。こんどは、ばりりのしごとにもちようせんしてみたいとおもいます。

たのしみに行っていることは、おひるやすみにじどうかんでバドミントとたつきゅうをすることです。



〈お昼休みの卓球〉

前の机拭きなどの担当を視覚的に分かりやすくするため、担当する作業の書かれたマグネットを利用者さんのロッカーに貼りみんなが分かるようにしながら進めています。

みんなの仕事の励みとなっているのが、様々な行事です。

六月には生産部・清掃部合同の日帰り研修で香川県の四国水族館と丸亀うちわミュージアムに行きました。当日は生産部・清掃部混合のグループ分けで見学し普段あまり関わりの少ない仲間と楽しく過ごしました。四国水族館では、ペンギンショーやイルカショーをとてもし近い距離で観ることができました。うちわミュージアムでは自分で絵柄を選び館内の方の説明を聞きながら組み立てることができました。加えて、西南合同新年会、事業所内でのスポーツ会、西・南ふれあいセンター祭りでの出

店（人参ケーキやポプリなど販売）、支援講座、清掃部の慰労会など様々な行事を行いました。いろいろな行事を行いながら楽しい毎日が送れるように今後も続けていきたいと思えます。

事業所の現状としては、お互いの職場への理解や個々の利用者さんへの支援内容を職員全員が共有し認識することを目指すことに生産部と清掃部の職員がどちらの作業も行えるように取り組んでいます。また、ご家族の方の高齢化に伴い、送迎を希望される声や南区に

互いの職場への理解や個々の利用者さんへの支援内容を職員全員が共有し認識することを目指すことに生産部と清掃部の職員がどちらの作業も行えるように取り組んでいます。また、ご家族の方の高齢化に伴い、送迎を希望される声や南区に



〈日帰り研修〉



〈西南合同新年会〉



〈事業所内スポーツ大会〉

もGHを新しく建てて欲しいという要望が多数あり、従来からの課題は変わらず続いています。利用者さんやご家族が求めるニーズもそれぞれ違い一人ひとりに合った支援をするための観察力やコミュニケーションを大切にしていきたいと感じています。

これからも利用者さんが地域の方々と共に心豊かに安心して生活が送れる共生社会を目指し、作業や様々な活動に取り組みでいきたいと思っています。

（川村 隆）

新人職員メッセージ

矢野 宏明

令和六年十月から西南仲よし清掃部に入職しました。初めの頃は、不安な思いがりましたが、利用者さんや先輩職員からいろいろ教えてもらう中で不安もなくなり日々楽しく仕事をさせてもらっています。今後も様々なことを学んで成長していきたいと思えますのでどうぞよろしくお願いたします。

白砂 美柚

令和六年七月から西南仲よし生産部に入職しました。慣れない作業で戸惑うこともありましたが、利用者さんや先輩方から丁寧に教えてもらい徐々にできることが増えてきました。人見知りのため、不安でしたが、たくさん話しかけてくださり慣れることができました。支援者として経験を積みながら頑張りますのでこれからよろしくお願いたします。

西部仲よし

利用者さん十六名、職員・スタッフ六名の計二十二名が所属しています。利用者さんは、全員男性で、二十代から五十代までの方が在籍しています。仕事の内容は、西部リサイクルプラザに分別収集された資源化物の手選別作業を中心にを行っています。

今年の三月、仕事の内容に大きな変化がありました。プラスチック資源の分別回収が始まる影響により、作業の一つであった発泡トレイの手選別作業がなくなりました。現在は、従来からの空きびん、ペットボトルの手選別作業に加えて家電の手選別作業と内職作業を行っています。

作業が変わり、職員、利用者さんとも次から次へと新たな課題にぶつかり試行錯誤の



〈内職作業〉



〈家電の手選別作業〉

毎日です。しかし、新たなことに挑戦したからこそ得られる気付きを大切に頑張ろうと日々奮闘中です。作業の合間にはリサイクルプラザ内事業所の(株)川崎技研、再生資源事業協同組合の職員の方々と施設周辺の清掃活動も行いました。

十月は、年に一度、楽しみにしていた日帰り研修へ行きました。行先は神戸です。南京町では各々好きなものを食べ、港で遊覧船にも乗船しました。



旅行では、たくさん神戸の街を歩き、お土産も買い、日帰り研修を満喫できたようでした。来年は、どこへいこうかと話をしつつ、日々の仕事を頑張っています。

(大石 桂子)



余暇活動



〈ビアガーデン〉



〈新年会〉

余暇活動では、新年会や、ビアガーデンを皆で楽しみました。

車をテーマにしたパラリンアートコンテストにて広島マツダ賞を受賞



アートコンテスト入賞!

江森祥晃さん

全国障害者スポーツ大会立ち幅跳びで八連覇し、岡山市より人見絹江スポーツ顕彰を受賞



全国大会八連覇達成!

切封佑太郎さん

利用者さんからのメッセージ

浪速 賢

仕事に行く時、朝暗いうちに起きて日が暮れて暗い中帰ることがあって大変だったけど段々となれてきました。家から西部リサイクルプラザまでバスで通っているけど一緒にはたらく人たちと岡山駅で会った時にあいさつしたりするとうれしくなります。しょくばには色々なひとたちがいるけど自分のおとうとのようにかんじる人もいて和気あいあいとしたのしいです。新しい仕事の色々とふえて仕事を覚えるのはむずかしいし大変だけどできることを増やしたい。皆と一緒にこれからもがんばります。



ご家族からのメッセージ

田中 恭子

数十年という長い間大変お世話になっております。作業所では丁寧なご指導と細やかなご支援のもので一つひとつの作業にやりがいを持って作業を行っている様です。

職場のお仲間の方々と交流できて毎日がとても楽しいと本人からいつも聞いております。また、色々な行事等にも参加させて頂き、日々のリズムを崩す事なく有意義に過ごすことができしております。心より御礼申し上げます。



クリーンメイト

『岡山ふれあいセンター内清掃』、『わ ダイニングこよし』、『こどもの森清掃・農園作業』の三カ所に分かれて活動している就労継続A型事業所です。現在職員九名、利用者さん十八名が所属しています。

『岡山ふれあいセンター内清掃』では芝生広場をはじめ、遊具・玄関周辺の植栽の水やり業務の仕事を今年度新しく頂きました。夏の三ヶ月、週三日暑い中で広範囲の水やりは大変な作業でしたが、お客様からの「頑張ってるね」等の声が励みとなり、なんとか乗り越えることができました。来年度以降の業務に繋がればと願っております。

今年度も猛暑続きで厳しい夏でした。そんな中、『こどもの森・農園作業』は外での

作業。熱中症対策が不可欠です。ビニールハウス内は40℃を超える日もあります。冷感リングや凍らせたスポーツ飲料など提供し、適宜休憩を挟みながら作業に取り組みました。

また、『岡山ふれあいセンター内清掃』の控室は、夏場は暑く大変でしたが、昨年度より岡山ふれあいセンター様の御厚意で暑い期間中、空いている部屋を休憩室としてお借りすることができました。本当に感謝しております。

『わ ダイニングこよし』では、今年度も支援学校からの実習生、中学生の職場体験等たくさんの方が来られ一緒に仕事をしました。仕事の先輩として作業を教えてあげたり、お客様へのオーダーを譲ってあげたりと微笑ましい姿が見られます。また若い実習生さんから元気なパワーを頂き良い刺激になっています。



〈わ ダイニング こよし〉

他の事業所でも課題となっていますが、クリーンメイトの利用者さんも七割近くが高年齢層です。親御さんも高齢になってきています。中腰姿勢での作業もあり、体力的にも厳しくなってきました。

また、ご自身で公共交通機関で通所することが難しくなり、ご家族の方の送迎で通勤されている方もいます。数年後には通勤できない問題が出てくる可能性があります。ここ数年は今後の生活や新たな福祉サービスの相談など受ける機会も増えました。利用者さんのニーズに対応できるよ

う、職員一同支援力を高めていきます。



〈ふれあいセンター水やり業務〉



〈ビニールハウス内の草抜き〉

日帰り研修

数年ぶりの日帰り研修で四国水族館に行きました。コロナ前までは法人内のA型事業所が合同で県外へ出かけていましたが、今回は初めてクリーンメイト単独での研修。当日は岡山駅集合し、電車の切符は利用者さんに管理してもらいました。昼食は本場さぬきうどん。モチモチで美味しかったです。四国水族館ではグループで鑑賞しました。慣れない電車での移動ということとで職員があたふたすることもありました。皆さん笑顔で岡山駅まで帰って来ました。日頃旅行に行くことや電車に乗る機会がない方もおられます。行きたい場所や乗り物などアンケートを取りながら日帰り研修を企画していきたいと思っています。



〈駅のホームにて〉



〈昼食 うどん屋〉



「わダイニングこよし」

月々土曜日、ランチの提供をしています。メニューは日替わりで二種類からお選びいただけます。昨年の六月、相次ぐ物価高騰によりランチの価格を百円値上げし、七百五十円とさせて頂きました。変わらず沢山のお客様に来店して頂き感謝申し上げます。お弁当やお持ち帰りにも対応出来ますので是非ご相談ください。また、団体での貸切も可能です。皆様のご来店お待ちしております。

(富永 芙美)

TEL 二三三一一八一



〈ランチ弁当(例)唐揚げ〉



〈日替わりランチ(例)鶏もも肉の角煮風〉

利用者さんからのメッセージ

徳永 友希

何回も実習をして昭和町仲よしから令和六年四月こよしに就職しました。最近、お風呂の清掃を始めました。喫茶ではお客様の顔を見てゆっくりしゃべることを心がけています。



広瀬町仲よし

『令和六年度障害福祉サービス等報酬改定』において、障害者の意思決定支援を推進するための方策が出されました。その中の意思決定支援の取扱方針の項目において「利用者の意思決定の支援に配慮するよう努めなければならぬ」と明記されました。

広瀬町仲よしのホームで暮らす方の中には、自分の意思を伝えることが苦手な方や、複数の選択肢の中から必要なものを選ぶことに難しさを感じている方も多いと思います。そうした中で、ご本人の意思決定の方法を模索し実践することが、現在の、そしてこれからの福祉サービス事業者の行なうべきこととして求められています。

福祉ホームの人員配置やサービスの性質等で、グループホー

ムや障害者支援施設のような入所系のサービスよりも、手厚い支援が難しい場合があります。

しかしながら、入居者にとってホームは帰るべき「家」であり、当然、支援者として何も知らない訳にはいきません。入居者にとって「家」であるからこそ、人生の中で当たり前に経験する楽しみや人との関わりを提供する必要があると思っています。その経験や体験の中には必ずご本人たちの「意思」が含まれている必要があると考えています。

令和六年八月、久しぶりにホーム入居者と支援者との交流会（仲よしの会）を行ないました。広瀬町仲よしの職員だけでなく、宿直業務に入っている他事業所の職員も参加しました。

今回、「開催日はいつにするのか」「何を食べるのか」「どのような催しをするのか」等、企画の段階から入居者の方たち



〈仲よしの会(開会)〉

と一緒に決めていきました。交流会が終わって、「楽しかった」という声が多く聞かれました。単に支援者が用意したものに参加するのではなく、ご本人たちが「決めたり」「選んだり」して自分たちの意思が反映されることにより、今まで以上に会の楽しさや交流することの大切さを感じられたのではないのでしょうか。



〈仲よしの会(ビンゴゲーム)〉

障がいがあるないに関わらず、私たちの「意思」や「選択」は多くの経験から成り立っています。経験がなければ選択の幅は広がりません。利用者さんと支援者、どちらか一方が主体になったり、どちらも受け身になったりするのはなく、ホームでの暮らしに関わる一員として、一緒になって色々な活動を考えていけたらと思います。

(郷原 佑太)

地域サポートセンター仲よし

地域サポートセンター仲よしの相談支援部門は、福祉サービスの利用を支援する「計画相談支援」と「障害児相談支援」、施設や病院を出て地域で暮らせるように支援する「地域相談支援」を行っています。

今年度から相談支援部門と日中活動部門は、今までの事業所の東隣にある田中ホールに移転しました。田中ホールは当法人の産業医・嘱託医としてお世話になった田中茂人(故)・美知子様のご寄付により完成しました。

地域サポートセンター仲よしには、相談支援専門員を六名配置しております。これまでは、四名が女性のため、相談の内容によっては、断らざるを得ない場合があります、毎年課題として挙がっていました。

しかし、今年度、待望の男性相談支援専門員の増員が叶いました。これから徐々に相談支援の業務を覚えてもらい、活躍してくれることを期待しています。



現在、「計画相談支援」「障害児相談支援」とともに、利用者さんは増加傾向です。最近では親の高齢化に伴い、家族での介護には限界を感じるケースが増加しています。計画相談支援で相談支援専門員が関わるようになって、在宅でヘルパーの利用を開始したり、グループホーム

へ住まいを移したりしたケースもありました。このような相談を受ける中で、相談支援専門員が必要とされていることを実感しています。しかし、岡山市の現状では、相談支援専門員の数はまだまだ不足しており、仲よしも全ての希望にお答えできません。微力ではありますが、岡山市とも連携しながら、必要とされている方に相談支援が行き届くように、協議をしていきます。(向所 優希)



利用者さんからのメッセージ

私の福祉ホームでの生活

仲よしの会会長 近藤裕子

私は、福祉ホームに入居して、十年がすぎました。入居したころは、不安とさみしさでいっぱいでしたが、職員さんや、先ばいの入居者の皆さんに助けられて、頑張っています。特に、宿直の職員が、えがおで、あいさつしてくれたり、やさしくしてくれました。日常生活も、分からない事は、職員さんが教えてくれます。ありがとうございます。楽しみの一つは、夕食時に皆さんの顔が見れて、話が出ることです。年に一度の交流会も楽しみです。困りごとは季節のかわり目に衣服やふとんの入れかえが分からなくなることです。職員さんと相談して出しています。仲よし会で困ったことを職員と、話し合いながら楽しい生活にしていきたいと思えます。

番町仲よし

番町仲よしは平成三十年四月にグループホームとして開所して、七年目を迎えています。開設当初からの入居利用者さん十名（男性六名、女性四名）、短期入所の方が利用されています。生活支援員、世話人、各事業所からの宿直職員で支援をしています。

グループホームは入居利用者さんが過ごす『家』であり、快適に過ごせる場所です。今後も利用者さんのニーズに答えられるよう努めていきたいと考えています。

今年度は利用者さんの身体機能に合わせて、居室のトイレに手すり、着席時の姿勢安定のため足台の設置等を行いました。健康面や身体機能の維持のため、訪問リハビリテーションの導入、食生活の支

援に日々取り組んでいます。

職員の支援力向上のため、精神保健福祉士、サービスマネージャー、強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）と新たな資格取得、研修受講を行っています。

また、より良い支援や環境づくりに取り組むため、コンサルテーションを始めました。職員の利用者さんに対する

る伝え方について、「物事の始まりのきっかけとなる物を示してみる。情報が利用者さんの視線に入る様に配慮していく。手添え↓見本↓ジェスチャーと促しの順番や頻度を職員間で合わせていく。終わりを明確にしていく。」等基本を学んでいます。



これまで過ごした六年で、利用者さんは皆さんそれぞれに番町仲よしでの生活リズムを確立されています。コンサルテーションの取り組みにより、その生活リズムを一部変更することもありますが、利用者さんの負担となることのないよう、小田桐先生としっかり話し合い、職員一同、努力して参ります。





地域とのふれあいの一環として、四番町秋祭りに参加しています。利用者さんも秋になると「お祭りあるなあ。」と、楽しみにされています。お祭りでは、利用者さんが描いた絵を灯籠に灯しています。神社には出店が並び、地域の中のグループホームを実感します。

今後も地域との連携を大切にしていきたいです。生活に彩りをもたらず行事として、五月に蒜山ジョイフルパークに行き、園内の散策やアイスクリーム作りを体験しました。

アイスクリーム作りでは、真剣に講師の方の説明を聞き、各工程に楽しく取り組みました。当日は



(長嶋 洋)

番町仲よしにいます。外にドライブに行くことと絵を描くことが好きです。描いた絵を妹に見せたいです。食べ物にはハンバーグとそばが好きです。番町の食事はいつもおいしく食べています。

池上 達巳

利用者さんからのメッセージ



〈蒜山高原〉

総務部

総務部が新体制となり、二年が経ちました。通常業務のほか、新たに取り組んでいることがあります。

これまで地域サポートセンター仲よしが担当していた「岡山ふれあいセンター小さな美術館絵画展」を、総務部が引き継ぐことになりました。

令和六年十一月十三日(水)から二十六日(火)まで、岡山ふれあいセンター二階「小さな美術館」にて開催しました。

テーマは「好きな動物」で、合計百三十三点。一番多かったのは断トツでネコ、二番ウサギ、三番イヌでした。なかにはバルタン星人、ディズニー、スヌーピーなどのキャラクターもありました。参加賞は保存食になる缶入りの動物型ビスケットです。



利用者さんのさまざまな絵画や思い思いの作品名に触れるのは、しばし経理事務から離れて楽しいひとときでした。

また、健康診断においては、三十五歳以上の職員には検査項目が多くて安価な協会けんぽの「生活習慣病予防健診」の利用を勧めることで、より職員の健康管理に役立てるとともに、経費を削減することができました。

今後とも各事業所と協力して、法人の運営に役立てることを探して実行していきます。

法人や事業所についてご質問やご相談などございましたら、お気軽にご連絡ください。

(保田 章子)
法人総務部連絡先
(〇八六)二〇六一一五〇〇

職員研修

平成二十二年より年に一度、岡山西ロータリークラブからの青少年健全育成基金を受けて、全職員対象の法人研修を開催しています。

今年度は令和六年十一月十六日(土)に開催され、講演会と今年度より新たに法人で取り組んでいるコンサルテーションの経過発表を行いました。

講演では、全国手をつなぐ育成会常務理事の又村あおい氏を招き、「法改正でますます重視される意思決定支援について」というテーマでお話し頂きました。

障がいを持つ人達を支える制度が様々な変化する中、多様な視点からご本人の意思決定に正しく関わることは重要な課題となっています。

今回の講演では障害福祉に携

わる職員として意思決定支援の意義や知識の理解、支援技術等の向上に対して積極的に取り組むことが求められている事を学ぶ機会となりました。

コンサルテーションの経過発表では昭和町仲よし、番町仲よしでの取り組みを法人全体で共有しました。

利用者さんの特性に応じた支援をコンサルタントの方と試行錯誤されている様子を知り、ご本人に寄り添った、質の高い支援を法人全体で考える貴重な時間となりました。

(大石 桂子)



〈令和6年度 法人研修の様子〉

新人職員研修・フォローアップ研修

人材育成委員会では、採用後の職員に対して、新人職員研修とフォローアップ研修等の企画・準備・運営を行っています。

新人職員研修では、法人への理解を深め、法人職員として業務上必要となる基本的な知識、職業倫理や法令順守を学ぶとともに、社会的要請や社会的責任のもと職務に従事する起点となることを目的として実施しています。本年度は、



〈令和五年度フォローアップ研修〉

業体系と職員の姿勢、職員的心得を学びました。さらには、講師を招いて、構造化された記録の書き方や、障がいのある方への基本的な支援の姿勢について学びました。そして、新人職員研修受講後、六ヶ月を目的にフォローアップ研修を行っています。採用直後からの時間経過の中で、法人職員としての基本姿勢や仕事の意味を再確認し、現状と課題を意識する事を目的として実施しています。本年度は、参加者による、職場報告を行い、その後のグループワークで、現状と課題について話し合い、課題について解消していくアイデアを出し合いました。その後、講師を招いてのアセスメント時の留意点を学びました。

今後、法人内での研修を充実させていき職員の学びやモチベーションに繋がるようにしていきたいです。

(行本 公宣)

仲よし祭(岡山西ロータリークラブ提供)

昨年度から再開した冬の仲よし祭も今回で二十四回目を迎えました。全事業所の利用者さんが集まり、盛大に開催することができました。サントさんから一人ひとりプレゼントをもらい、「ありがとう！」と皆さん良い表情で感謝の言葉を伝えていました。

今回も総社吹奏楽団の有志の方々が来て下さり、オープニングを盛り上げていただきました。演奏会は、クリスマスソングから有名な曲までたくさんの演奏をしてくださり、みんなで手拍子をしたり、体でリズムを取ったりしながら楽しみました。

仲よし祭の準備、当日の司会や進行などみんなが協力して取り組み楽しい仲よし祭となりました。

岡山西ロータリークラブ様、総社吹奏楽団の皆様、関係者各位、ご家族のみなさまには深く感謝申し上げます。



コンサルテーション

今年度から昭和町仲よしと番町仲よしでコンサルテーションを導入しました。

「コンサルテーションとは」

専門の先生を招き、日々、実践で生じる支援者の疑問や悩みなどの相談をし、支援の仕方などについて専門の見地からの助言や指導を受けることです。

昭和町仲よしでは、四月から隔月、小田桐先生に利用者さんの支援についてアドバイスをいただくことになりました。生活介護の利用者さんの支援のあり方について悩んでいた時期でもあったので、専門家の方に今の支援の方向性や疑問に感じていることをお話しする機会は大変貴重でした。

コンサルテーションの流れとしては一人の利用者さんの特性、行動分析を行い、支援のアドバイスをいただき、次の会議まで

に実践していくという形でした。

先生のアドバイスのおかげで利用者さんの作業への取り組みや余暇時間の行動は大きく変わり、表情も良くなったように思えます。また、職員も支援に自信を持てるようになりました。

コンサルテーションを通して、大きく変わったことは職員それぞれが色々なアイデアを出し合いい、すぐに実践するようになってきたことです。また、他の利用者さんの支援についても生活介護の職員全員で話し合う機会が増え、チームワークが良くなりました。まだまだ、課題はありますがコンサルテーションで得た知識、経験を活かしてより良い支援ができるようにしていきたいです。

(佐々木 麻衣)

番町仲よしでは、令和六年度よりコンサルテーションの導入



による指導・助言を受け、職員の利用者さんに対する支援力の向上を目的とした取り組みを行っています。

利用者さんがどういった方かを改めて共通認識することから始め、利用者さんが興味ある取り組みを導入して、そこから見えてくる課題や改善点を分析して、次への目標へ進めていきます。

利用者さんが新しくできるようになったことや、そこから得られる充実感を職員も共に喜び合えるよう、支援を続けて行きたいと思っております。

(長嶋 洋)

「小田桐早苗先生について」

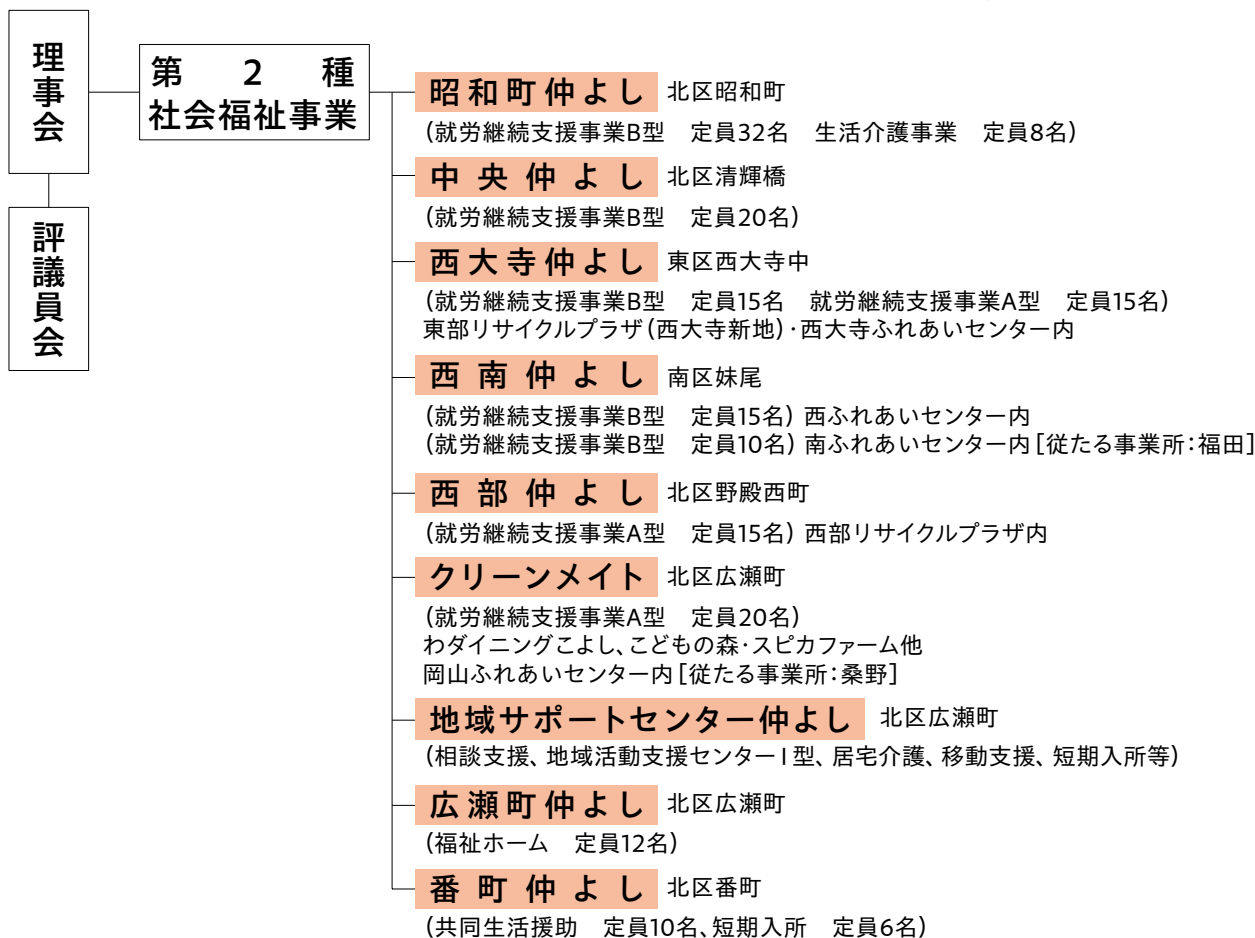
二〇〇七年、川崎医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 医療福祉学専攻修士課程修了。
二〇一三年二月～五月、ノースカロライナ大学 TEACCH Autism Program インターン研修。現職、川崎医療福祉大学医療福祉学部 医療福祉学専攻講師。

厚生労働大臣表彰 【社会福祉功労者】受賞



チーム「仲よし」他、皆様のおかげです
ありがとうございます
統括施設長 高中 美和

社会福祉法人岡山市手をつなぐ育成会組織図



令和5年度 決算報告

科目	金額	科目	金額
流動資産	230,696	流動負債	45,872
固定資産	717,870	固定負債	70,840
基本財産	717,870	基本金	46,447
その他の固定資産	106,541	純資産	
		国庫補助金等積立金	146,815
		次期繰越活動収支差額	745,133
		(うち当期繰越活動収支差額)	-44,874
合計	1,055,107	合計	1,055,107

科目	金額	科目	金額
事業活動収入①	574,254	事業活動支出②	618,747
事業活動収支差額③(①-②)	-44,493		
事業活動外収入④	2,833	事業活動外支出⑤	3,214
事業活動外収支差額⑥(④-⑤)	-381		
経常収支差額⑦(③+⑥)	-44,874		
特別収入⑧	56,500	特別支出⑨	56,500
特別収支差額⑩(⑧-⑨)	0		
当期活動収支差額⑪(⑦+⑩)	-44,874		
前期繰越活動収支差額等⑫	790,007		
次期繰越活動収支差額⑬(⑪+⑫)	745,133		

(社福) 岡山市手をつなぐ育成会HP こちら→

育成会 仲よし 検索 🔍

<https://nakayoshi-ikuseikai.com>



〔敬称略・五十音順〕

ご寄付ありがとうございました

安宅 正子
石原 眞季江
伊藤 敏夫
井上 昭弘
大田 ミドリ
大前 有光
岡山西ロータリークラブ
奥山 進
片山 望
片山 佳子
木村 直樹
ころばぬ先
近藤 小太郎
西大寺学区連合町内会
西大寺ふれあいネット
坂田 有三
篠田 純男
高中 美和
田宮 隆

蜂谷工業株式会社
取締役 蜂谷 泰祐

林 英生

平岡 裕

山田 貞秀

芳岡 博彦

株式会社GEN設計

代表取締役 芳岡 博彦

吉見 敦子

渡辺 学

渡辺 倫子

(令和五年十二月)

令和六年十一月



このほかにも多数の方々より、様々な温かい
お心遣いをいただき、一同心より感謝しており
ます。引き続きお名前の掲載を希望されない方
については配慮させていただきます。

表彰

受賞おめでとう
ございます
(敬称略)

【厚生労働大臣表彰】

高中 美和

【岡山県部長表彰】

岸 本昌子

日笠 真理子

【岡山市長表彰】

行本 公宣

小野田 和寛

安東 純子

【岡山県育成会
会長表彰】

藤井 祐子

田中 一輝

服部 大和

龍野 竜乃介

【岡山市社会福祉協議会
会長感謝状】

平岡 智

太田 正樹

令和五年度の苦情解決等について

令和五年度の苦情は、全体で二十九件あり
ました。昭和町仲よしで六件(地域一件、利
用者さん一件、ご家族二件、請負先一件、そ
の他一件)、中央仲よしで二件(請負先二件)、
西大寺仲よし四件(ご家族一件、請負先三件)、
西南仲よしで七件(請負先四件、地域一件、
利用者さん一件、ご家族一件)、広瀬町仲よし、
地域サポートセンター仲よし二件(地域一件、
利用者さん一件)、西部仲よし七件(請負先
三件、利用者さん三件、ご家族一件)総務一
件(ご家族一件)でした。

①利用者さんからは、『職員の支援、対応
の仕方について』『他の利用者さんとの関係』
②ご家族様からは、『職員の支援、対応の仕
方について』『送迎場所の行き違い』③請負
先の方からは、『作業の間違いによる注意
クレーム』など、④地域の方からは、『職員の
行動や支援について』『送迎時の運転マナー
について』『利用者さんの迷惑行為について』
等に関するものでした。

いずれも事業所の対応及び、苦情解決責任
者等との話し合いにより、改善に努めています。
今後も、利用者さん、ご家族の方の声を大
切にし、誠実な対応を心掛け、皆様が地域の
中で安心して過ごせる場となるよう、また地
域の方、請負先の方からも、信頼のある場所
であるよう、法人として取り組んで参りたい
と思います。
(日笠 真理子)

編集後記

コロナ禍を経
て、かつての日
常が戻りつつあ
ります。各事業
所では、日帰り
研修などの行事
が本格的に実施されるようにな
りました。コンサルテーシ
ョンの導入という新たな取り
組みも始まりました。今回の
広報誌を通じて活動の様子が
少しでも伝われば幸いです。

また近年は、職員の働き方
や労働環境を見直しなどに
よる、働きやすい職場づくり
に積極的に取り組んでいます。
働きやすい職場環境を整える
ことで、利用者さんへのより
よい支援に繋がっていきたく
思います。

最後に今回の広報誌の作成
にあたり、ご協力いただきま
した皆様に感謝するとともに、
当法人の活動にご理解とご協
力いただいている関係者の皆
様に厚く御礼を申し上げます。

(松岡 竜大)

※当法人の方針により「障害」は「障
がい」と表記します。